KH NeoChem

-ＫＨネオケム株式会社 2017年度 社会貢献活動実施レポート-

製造拠点ゆかりの地 三重県四日市市で 新たな社会貢献活動をスタート

ＫＨネオケム株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：浅井惠一、以下「KHネオケム」）は、これまで実施してきた環境保全や地域コミュニケーションの活動を発展させ、2017年、新たな社会貢献活動をスタートさせました。世界のモノづくりを支える老舗の化学素材メーカーとして、今年は塗料原料の製造拠点である三重県四日市市で、「塗料」を用いた社会貢献活動を実施しましたので、以下報告いたします。

社会貢献活動 概要	
実施活動	**塗料贈呈式**
日程	2017年11月1日（水）14:00~14:30
実施内容 詳細	三重県四日市市のスポーツ複合施設「四日市スポーツランド」に対し、ローラースケート場補修用の塗料を寄贈。記念植樹も実施。
参加者	四日市市副市長 藤井信雄様 KHネオケム 四日市工場長 緒方利明
実施活動	**四日市スポーツランド ローラースケート場 補修作業**
日程	2017年11月13日（月）10:00~15:00
実施内容 詳細	塗料贈呈式で寄贈した塗料を用いて、KHネオケムの従業員が四日市スポーツランドのローラースケート場の柵を手作業で補修。
参加者	KHネオケム 四日市工場の従業員 約20名が参加
実施活動	**四日市市制施行120周年記念協賛事業「KHネオケムデー」**
日程	2017年11月26日（日）9:30~16:30
実施内容 詳細	ローラースケート場（靴貸出付）、アスレチックコース、スーパースライダーが利用できる無料回数券を四日市市在住の中学生以下の子どもたち200名に配布。 ローラースケート場の補修作業完了のご報告とお披露目に合わせて、四日市スポーツランド所長 近藤弘様からの挨拶をいただくとともに、ＫＨネオケム 四日市工場長 緒方利明より、今回の取り組みについて紹介。
参加者	計200名の中学生以下の子どもたち（とそのご家族） ＜ご報告とお披露目＞ 四日市スポーツランド 所長 近藤弘 様 KHネオケム 四日市工場長 緒方利明

◆今回の社会貢献活動の実施背景と狙い

KHネオケムは、社会の持続的な発展のため、事業やコミュニケーション活動を通して、社会貢献に取組んでいます。特に製造工場を保有する四日市と千葉では、これまでにも、清掃活動やお祭りへの協賛など、地元地域に根差した活動を継続して実施してまいりました。

そのような活動を進める中、当社は2016年10月に東京証券取引所 第一部に上場いたしました。今後は、上場企業としての社会的責任を果たすべく、これまで以上に積極的な社会貢献活動を展開してまいります。

活動を進めていくにあたり、当社では以下の「５つの指針」を設定しました。今回の活動内容の選定にあたっては、社内アンケートによる従業員の声にこれらの指針を照らし合わせることで、「塗料を用いたスポーツ施設の補修作業」の実施を決定しました。

社会貢献活動方針 ５つの指針

- 貢献される側に喜んでもらえる活動
- 社員が積極的に参加できる活動
- 継続的に実施可能な活動
- KHネオケムを知ってもらうきっかけとなる活動
- 事業に間接的に関係する活動

具体的な活動内容
塗料を用いたスポーツ施設の補修作業

ＫＨネオケムのCSR推進

CSR推進のための「社会貢献活動」について

私は、「CSR」とは、“社会に対して、当社がどのような価値を提供できるのか”を考えるきっかけであると考えています。

当社は、今年で創業70周年をむかえる化学素材メーカーです。地域の皆さまをはじめとする“社会”に支えられ、世界に数社しか製造できないエアコン用潤滑油原料や化粧品原料、高純度溶剤などの化学素材を製造・販売し、企業活動を続けてまいりました。

代表取締役社長　浅井　惠一

そのため、日頃お世話になっている社会に、感謝の気持ちをもって貢献していくことは、当社の義務であると捉えています。なかでも、KHネオケムは企業理念に、“「化学の力」で、よりよい明日を実現する。”を掲げておりますので、当社の“化学”技術を通して、社会の皆さまの幸せや快適な生活の実現に貢献することは、達成しなければならない課題であり、今後も達成するよう努めていきたいと思います。

四日市スポーツランドの補修作業を通して ～ 従業員へのメッセージ ～

今回、台風の影響で10月に予定していた“全社を挙げた補修作業”が中止となり、実際には塗装作業に加わることができなかったことを大変残念に思っています。このような状況の中、私たちにできることを改めて考え、11月1日には塗料贈呈式、11月13日には四日市工場の皆さんによる補修作業、11月26日には四日市市制120周年記念協賛事業「ＫＨネオケムデー」を実施し、地域の皆さまに当社をより身近に感じていただくとともに、日頃、お世話になっている地域の方々への恩返しになったのではないかと考えています。

今回の活動の実施にあたっては、関係各署の皆さんに本当に感謝しています。来年度以降も活動は継続していきますので、より多くの従業員の皆さんが活動に参加していただき、KHネオケム一丸となって社会貢献に取組んでいきましょう。

KH NeoChem

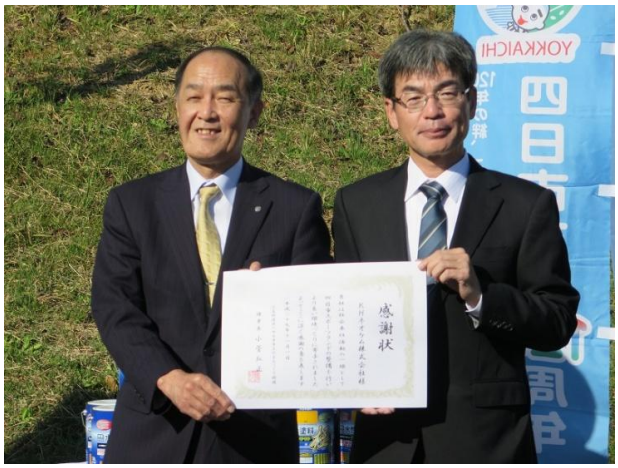
◆活動報告

塗料贈呈式　2017年11月1日

三重県四日市市のスポーツ複合施設「四日市スポーツランド」に対して、ローラースケート場 補修作業用の「塗料」を寄贈しました。贈呈式当日は天候に恵まれ、晴天の下、四日市市副市長 藤井信雄様よりお言葉を賜るとともに、四日市スポーツランドを所管する公益財団法人四日市市文化まちづくり財団より感謝状を頂戴しました。

また贈呈式後には、今回のKHネオケムの社会貢献活動を記念した植樹も実施しました。

※今回寄贈した塗料は、大日本塗料株式会社様・サンデーペイント株式会社様に協賛いただいたものです。



補修作業　2017年11月13日

塗料贈呈式で寄贈した塗料を用いて、当社従業員が四日市スポーツランドのローラースケート場の柵を手作業で補修しました。

当日は四日市工場から 約20名の従業員が参加して、活動を行いました。慣れない作業に、最初は戸惑う姿が多くみられましたが、時間が経つにつれ、ベテラン従業員を中心に連携をとり、参加者一丸となって、本来ならば複数日かかる予定であった補修作業を一日で終了することができました。

KHネオケムデー　2017年11月26日

四日市市制施行120周年記念協賛事業「KHネオケムデー」として、四日市スポーツランドに四日市市内に在住の中学生以下の子どもたち200名を無料でご招待しました。子どもたちには、ローラースケート場（靴貸出付）、アスレチックコース、スーパースライダーが利用できる無料回数券を配布。一緒に来園いただいたご家族の方と共に、今回補修作業を行ったローラースケート場をはじめ、四日市スポーツランドの各施設をお楽しみいただきました。

また、ローラースケート場の補修作業完了のご報告とお披露目に合わせ、四日市スポーツランド 所長 近藤弘様より挨拶をいただくとともに、ＫＨネオケム 四日市工場長 緒方利明からも、今回の取り組みについて紹介させていただきました。当日は四日市市のマスコットキャラクターである「こにゅうどうくん」も駆け付け、大変盛況なイベントとなりました。

◆補修作業に参加した社員の声

四日市工場 総務課 リーダー
横井 亮介 さん

四日市スポーツランドにおける社会貢献活動の取り組みについて

－「化学品の製造メーカーである我々に、このような社会貢献の仕方があるのだと、従業員として新たな発見がありました。また、私は四日市の出身なのですが、会社の社会貢献活動を通じて、地元地域に貢献できたことが良かったです。
また、今回の活動で何よりも嬉しかった出来事は、ＫＨネオケムデーの際、市民の方が喜ぶ姿を間近で見ることができたことです。感謝の言葉を直接受けたことで、社会に貢献することへの嬉しさをダイレクトに感じ取ることができました。
これからも、地域の皆さんに喜ばれる活動を、続けていきたいと思います。」

今回の補修作業に参加して

－「参加するからには、きれいに仕上げたい、地元地域に貢献したい、という思いを持って、一塗り、一塗り丁寧に塗るようにしました。それは、参加した他の従業員全員が同じ気持ちだったと思います。と言うのも、作業当日、参加者全員が作業の完遂のため、黙々と作業にあたっていた事が強く印象に残っているためです。参加者全員が今回の作業を通じて、強い絆で一体になれていたように感じます。
また私個人に関して言えば、塗料原料を製造する工場に勤めていながら、私生活を含めて、塗料に接する機会がこれまではほとんどありませんでした。今回、ユーザーとして塗料を使用したことで、当社製品とのかかわりが深い“塗料”というものへの理解がより深まったように感じました。大変貴重な経験となったと思います。」

社会貢献活動の取り組みに対して、社員として考える今後の展開（今後の四日市市への貢献など）

－「四日市市には市が管轄する公園が500以上あり、古くからある遊具は老朽化が激しいと聞いています。今回のように、塗装が剥がれた柵や遊具を我々の手で直し、毎年、市内の公園を順番に補修をしていくことがゆくゆくの夢ではあります。ただ、一方で、遊具の塗装は専門的な技術が必要とされます。そのために、まずは、公園の清掃活動など、身近な活動を毎年続けていき、その中で地域の皆さんから出てくる意見をもとに、少しずつ活動を拡大していくことができたら良いと思っています。」

◆四日市スポーツランド 担当者の声

四日市市文化まちづくり財団
まちづくり振興事業部長
長谷川 秀範　様

今回、KHネオケムがローラースケート場の補修作業を行ったことについてどのように思われましたか？

－「過去には、台風の後片付などに、地域の皆様や団体の方のお力をお借りした実績はありましたが、企業のCSR活動を受け入れさせていただくことは、初めての経験でした。そのため、どうすれば気持ちよく活動いただけるのかということも検討させていただきながら、活動をお願いさせていただきました。季節外れの台風の襲来により予定を変更いただくなどのアクシデントもありましたが、結果としてお願いして良かったと、スポーツランドとしても大変感謝しています。」

11月26日のKHネオケムデーに参加した子どもたちやご家族は、どのような様子でしたか？

－「最終的に200人の子どもたちに参加いただき、ご家族の方も一緒になって、ローラースケートに、アスレチックに、スーパースライダーにと、皆さん楽しい１日を過ごしていただきました。参加者からは、企業のこうした活動に感謝するとともに、素敵な機会を提供いただいてありがとう、といった声を頂戴しています。また、何回か利用いただいた子どもさんですが、日に輝く手すりを見て「あっ、ピッカピカだ」という感動の声をあげていたのが印象的でした。」

◆本活動における総括

KHネオケムが提供する化学素材には、塗料原料（溶剤）となるブタノール、酢酸ブチルなどがあります。特に当社の四日市工場では、製造している製品の約３割が塗料原料として利用されていることもあり、“塗料”は当社事業の中核を担う、当社にとって大変関わりの深い分野と言えます。

今回、活動内容の選択にあたっては、当社との関わりの深い“塗料”、“四日市市”をキーワードとし、加えて、より地域の皆様に喜んでいただける活動とは、を念頭に活動内容を模索したところ、“四日市スポーツランドの遊具の補修”が候補として抽出されました。

これまで、当社製品を活用した社会貢献活動の実績はありませんでしたが、今回の活動により、四日市市民の皆様に「ＫＨネオケム」という企業をより身近に感じていただける機会を創ることができたのではと考えています。

今回の補修作業では、全役員・従業員を対象に参加を募り、その中から手を挙げた有志約100名が、10月下旬に現地で作業を行う予定でした。しかし、台風22号の影響により、当日の活動の実施が困難な状況となったため、結果的に11月中旬に日を改めて活動を行いました。

11月の活動には、四日市工場の従業員を中心とした約20名が参加し、当初の予定よりも活動の規模は小さくなりましたが、「活動に参加できてよかった」「四日市スポーツランドは、子供の頃、頻繁に遊びに来ていた。その場所を今、自分の手で補修することになるとは思わなかった。とても感慨深い」等の前向きな感想が参加した従業員から多数上がり、新たな社会貢献活動としての可能性を感じさせるものとなりました。

◆今後の展望

現在、塗装が剥落してしまっていることで、子どもたちが安全に遊ぶことのできない遊具は日本全国に数多く存在します。“塗料”原料を製造・販売している当社の社会的責任として、今回のような取り組みは今後も継続的に実施していきたいと考えています。

現在、日本のみならずグローバル単位で、さまざまな社会課題が散見されますが、これらはいずれも、一朝一夕に解決できるものではありません。これらの課題を解決するためには、2頁目でご紹介した当社の「社会貢献活動方針　５つの指針」のように、何より“継続”していくことが欠かせません。

当社は、今後も地域の方々を始めとするさまざまなステークホルダーの皆様に対して、積極的、かつ継続的に貢献してまいりたいと考えています。